

11月2日(金)

本日は午前中に東広島市八本松にある広島県教育センターを訪問しました。広島県では11月1日を「広島教育の日」、11月1日から7日までを「広島教育ウィーク」と定めており、今回はその期間中の訪問となりました。



教職員研修についての講義では、研修の内容や開講している講座の種類や目的についての説明を聞き、研修の多さに驚いている研修員の方もいました。質疑応答の時間には、小中高どの教育段階の教員を対象としているのか、行われる期間、研修を受けてから実際に授業に生かすメカニズムなど、内容への疑問点を解決することが出来たようでした。

センター内の施設の見学を行い、研修を受ける教員が使う家庭科室や技術室をはじめ、いじめなどの学校での問題を相談するための相談室や電話相談室、障害児童のための教科書等を実際に見学しました。

午後は吉田和浩教授から教育指標に関する講義が行われ、教育政策を考えるグループワークを行いました。例えば、ある国での就学率が低い地域の率を上げるためにはどのような政策を採ればいいのか、というテーマについて、教室やフリースクールを増やすといった提案や予算やボランティアが必要であるという具体的な意見が出ました。

最後に今日一日のリフレクションを行い、センター訪問で一番心に残ったこととして、教職員への研修に継続性があったなどが挙げられました。障害児童への対応に関しては、参加者の国でも日本のように障害児童のための学校を増やすべきといった意見が出ました。